

令和7年 中標津町議会12月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を求める者
1	10番 宗形 一輝 むねかた かずき	<p>1 外国人財誘致推進事業の今後の展開は</p> <p>これからは外国人を少しづつ定着させる事業展開を図っていくべきである。そのためにはこれまでの取組をどのように次につなげ、外国人財を必要とする町内企業をどのように継続的に支援するのかが重要で、次年度以降どのようにこの事業を活かしていくのか?</p>	町長
2	4番 長渕 豊 ながぶち ゆたか	<p>1 牛ランピースキン病の防疫体制と対応策について</p> <p>牛ランピースキン病は吸血昆虫などで感染し、乳量低下など経済被害が大きい病気である。近年アジアでの感染が拡大し、侵入する可能性が高まることが懸念される。また、アジアとの航空路線を増便する報道もあり、地域活性化は歓迎するが、本病の感染リスクが高まることは否めない。当町の基幹産業を守るためにの対策は?</p>	町長
3	8番 佐久間 ふみ子 さくま こ	<p>1 児童生徒や住民の交通安全対策について</p> <p>1) 通学路の安全対策と歩道の整備要望を</p> <p>国道272号交差点を境に緑町南1丁目には新しい住宅が建ち、子育て世帯の若いご家族が増えている。しかし、歩道未整備の区間があり車道を歩かざるを得ない状況である。さらに踏み込んだ要望をすべきでは?</p> <p>2) 国道272号交差点に横断歩道の設置要望を</p> <p>国道272号交差点を境に緑町南1丁目には新しい住宅が建ち、子育て世帯の若いご家族が増えている。最寄りの小学校・中学校へ通うには国道272号を横断しなければならないが、歩行者の横断歩道が設置されていない。横断歩道の設置を強く要望すべきでは?</p>	町長
4	7番 山口 雄彦 やまぐち たけひこ	<p>1 町の公共施設に喫茶コーナーのような休憩スペースを</p> <p>交通センターの元売店スペースは現在使用されていないため、埃がかぶり廃墟のようになっている。バス再編で来年4月から利用者の増加が見込まれる。文化会館や町立病院なども含めて公共施設に町内事業者や大手チェーン店を募集・誘致して、喫茶スペース設置による利便性の向上を図るべきでは?</p>	町長
5	15番 松村 康弘 まつむら やすひろ	<p>1 殉公者追悼式の再構築と参加者増大に向けた働きかけを</p> <p>戦後80年、当町で開催される8月15日の殉公者追悼式は御遺族の出席がめっきり減って、このままでは遺族代表の追悼の言葉も若者にどのように引き継がれていくのか、問題視せざるを得ない。追悼式の内容強化を図り参加者の増大を働きかけるでは?</p>	町教育長
6	11番 江口 智子 えぐち ともこ	<p>1 子宮頸がんワクチンの拡大を</p> <p>令和4年4月に積極的勧奨が再開された子宮頸がんワクチンは、令和6年の接種人数が514人と増加しているが、全国的に子宮頸がんの罹患者は増加を続けている。現在、公費負担は女子のみだが、男子にもがん抑制等の効果があることが分かっているため、男子への接種を助成し集団免疫獲得と医療費削減に努めるべきでは?</p>	町長

令和7年 中標津町議会12月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を求める者
7	3番 栗栖 陽介 くりす ようすけ	<p>1 小児予防接種における保護者の意思尊重と価値観の転換（パラダイムシフト）に対応した行政支援について</p> <p>1) 急速に変化する情報社会での保護者意識の尊重を</p> <p>1994年の予防接種改正法により努力義務へと制度が変わった。社会全体がパラダイムシフト（価値観の転換）を迎えている現在、小児予防接種に対する保護者の不安や疑問を軽減、意思を尊重し支援するため、小学校で配布される予防接種お知らせには「任意接種（努力義務）」を明記すべきでは？</p> <p>2) 予防接種における丁寧な対応を</p> <p>予防接種には副反応への不安も保護者の中に根強くある。アレルギー・アナフィラキシーなどの副反応が存在することは事実で、メリットとデメリットの両面を丁寧に説明し、保護者が不安を抱かぬよう中立的で丁寧な説明・寄り添った対応は不可欠です。行政として研修体制や指導体制を整備すべきでは？</p>	町長
8	1番 武田 開人 たけだ かいと	<p>1 役場の開庁時間及び窓口対応時間等の見直しについて</p> <p>1) 窓口利用者の実態把握について</p> <p>委員会審査の財政状況説明で令和6年度の人員費増と、令和8～12年度の推計が横ばい見込みであることが示されたが根拠が曖昧であった。まずは窓口利用者の実態把握が必要ではないか？</p> <p>2) 職員の勤務時間に対する認識について</p> <p>委員会審査の財政状況説明で令和6年度の人員費増と、令和8～12年度の推計が横ばい見込みであることが示されたが根拠が曖昧であった。職員の本来業務時間の不足や超過勤務の現状をどのように認識しているのか？</p> <p>3) 開庁時間の変更及び短縮について</p> <p>委員会審査の財政状況説明で令和6年度の人員費増と、令和8～12年度の推計が横ばい見込みであることが示されたが根拠が曖昧であった。住民サービスの質の向上及び人員費削減の観点から開庁時間短縮を検討する必要があるのでは？</p> <p>4) 開庁時間の変更及び短縮に伴う代替手段について</p> <p>委員会審査の財政状況説明で令和6年度の人員費増と、令和8～12年度の推計が横ばい見込みであることが示されたが根拠が曖昧であった。オンライン申請、予約制、限定夜間窓口などの代替手段の強化の考えは？</p>	町長

令和7年 中標津町議会12月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を求める者
		1 災害時要配慮者のための支援を	
		1) 災害時要配慮者・避難行動要支援者を地域で守ること	
		当町では避難行動要支援者名簿の作成や個別避難計画の活用など、地域で守ることに関する整備面はどのように進捗しているのか？	町長
		2) 北海道との連携・協定および福祉避難先の選択肢に関するこ	
9	2番 阿部 沙希 あべ さき	社会福祉協議会ではボランティアセンターが設置されることで、すぐに福祉避難所の開設は見込めないため混乱が生じるのでは？福祉避難所以外の選択肢として特別支援学校や放課後等デイサービスなどの使用の可能性、北海道等との連携・協定の状況は？	町長
		2 子宮頸がんワクチンの任意性と明確な情報周知を	
		H P Vワクチンに関する情報提供は町の広報を通して行われているが、12歳前後の子ども本人がワクチンのメリットとリスク、成分を含む正確な情報を理解し判断できる説明はされているのか？任意性に基づくことも含め意思確認はどのように確保しているのか？	町長